

- ✓ 建築・建材展大阪2025に出展します
- ✓ マツ六公式Instagramのご紹介
- ✓ 作業療法士からみた生活改善
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

第1回

建築・建材展 大阪 2025

新商品など
多数展示予定!

「理想のすまいと建築フェア (KENTEN)」×「建築・建材展」が連携し、
新しい展示会が関西エリアに誕生します!

2025年7月10日(木)・11日(金) 10:00~16:30
インテックス大阪

出展します!

4号館

小間番号 AC068

皆様のお越しをお待ちしています。

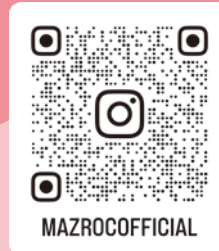


※イメージ



すぐに使える商品情報

Instagramで
マツ六の「今」を
お届け中!



様々な情報を日々発信中。
ぜひ、フォロー&いいねを
お待ちしております。

展示会情報



施工(設置)事例



新商品のご紹介



部材の
拾い出し例





社会・生活環境研究所
作業療法士
二級建築士

山田 隆人

高齢者の見ている世界を鑑みた環境支援

高齢者の白内障の初期混濁を含めた有所見率は50歳代が37～54%、60歳代が66～83%、70歳代が84～97%、80歳以上が100%とされています。

老視および白内障は、水晶体の加齢によってほぼ100%生じる疾患です。水晶体の加齢変化を表す水晶体機能不全症候群(DLS)という造語が用いられ、老視はDLSの初期段階(Stage 1)で、最終的に白内障(Stage 3)へと進行する経過が分類されています(表1)。

これらを踏まえると、高齢者が見ている世界は、若齢者が見ている世界とは異なっていると捉える必要があります。

加齢に伴う視覚の変化として、1)暗く感じる、2)眩しさを感じる、3)コントラストの低下、4)色の違いが分かりにくくなる、の4つが挙げられています。

表1) 高齢者DSLの分類ステージ

Stage 1 : 40～50歳まで
老視の発症、近見視力低下と高次収差の出現、遠視化

Stage 2 : 50～65歳
調節力の低下、高次収差と前方／後方散乱の増加、コントラスト感度と夜間視力の低下、軽度の水晶体混濁

Stage 3 : 65歳以上
白内障、視力低下、色覚に影響を及ぼす水晶体核混濁

老視(水晶体の硬化)(Stage 1)から白内障(Stage 3)へと進行する水晶体の加齢変化の経過が一連の流れでステージ分類されている。

高齢者と若齢者を対象に、生活行為に応じた照度・色温度を検討した実験では、以下の結果を示しています。

高齢者において、足元確認や新聞などを読む際には、色温度によらず照度が高い方が適当で、色温度が4500Kの場合、足元確認では700lx以上、新聞は400lx以上が適当としています。食事・団らん・くつろぐでは、照度・色温度ともに適切である範囲に上下限があり、食事では500lx・3800K、団らんでは300lx・3000K、くつろぐでは50lx・3800Kが適切としています。

このことから、高齢者への環境支援は、高齢者の見ている世界を踏まえた上で、明るくなるよう照度・色温度を踏まえた支援計画を立てる必要があります。更に、支援計画においては、照明だけではなく、コントラストを受けるような色彩の配慮がもとめられることを頭においておきたいものです(図1)。



図1) コントラストの付いた廊下

参考文献

- 1) 小原喜隆: 白内障の診療ガイドライン, JIM 13巻 1号, pp. 52-55, 2003年01月
- 2) 久保江理: 白内障・老視の疫学研究, 臨床眼科79巻1号, pp. 34-37, 2025年
- 3) 立川敦子: 高齢者にとっての光, 電気設備学会誌37巻9号, pp. 644-647, 2017

建築から見る

デザイン紀行 8

～過去から現在そして未来へ～

Fuori Salone 2025
(イタリア・ミラノ)

今回も世界の一流家具メーカーの展示を見て回りましたが、その中で私が個人的に感じた世界のデザイン潮流、キーワードは「日本・ベージュ・自然素材・古き良きものの活用」です。

イタリアの各ブランドで感じたのは、どこか日本っぽい。ということ。北欧のスーパーノーマルなデザインとは少し意味合いが違い、日本の「簡素」や「美意識」が未来資源としてデザインに取り入れられているように感じました。例えば、襖や障子のようなウォークインクローゼットのユニットや、各ブランドでみられた衝立、棚などに展示されているオブジェなどすべてが、日本らしさを感じるものでした。



カラートレンドとしては、ベージュやブラウン系の商品が多く見られ、それらの色は、いずれも自然素材由来のものでした。また、新作の家具の展示の中に、50年前にデザインされた家具も紛れ込んでいたり。名作のデザインは、トレンドに左右されず、古びることのない、新しい美しさを放っていました。

中世の街並みを残しながら、新しいデザインを受け入れ調和させるイタリアの文化を感じる展示でした。日本にも、先人たちが生活の中で生み出した知恵や美意識がたくさんあります。過去のを遺産と捉えるのではなく、未来資源として捉え、現在に、そして未来へと運用していくことが、もっとも美しいデザインであるような気がします。

未来を変える一歩を
いっしょに。

たよれールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境
コーディネーター 道
の答え: ① 建築基準法

マツ六公式SNS
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>

MAZROC 2507-1

